

春先から始めたペットのノミ予防(駆虫)薬の投与。涼しくなり「もう、おしまいにしようかな」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、ノミは気温や湿度が高い梅雨や夏季だけでなく、エアコンや加湿器などで環境を整えた秋冬の室内でも繁殖します。

ノミに寄生されるとペットは突然、体をなめたり、痒^{かゆ}がったりします。確認方法はノミの糞^{ふん}を見つけることです。ノミ取り用のくしで背中から腰部付近の被毛を皮膚までかき分け、1ミリの以下の「黒い小さな粒」を探してください。ぬらしたコットンの上に粒^{にじ}を乗せてこすり、赤く滲ん

あんしんペットライフ

68

ノミ予防(駆虫)はいつまで必要?

だら、それは吸血をしたノミの糞です。

ノミが寄生するとかゆみや脱毛だけでなく、吸血した際にノミの唾液がペットの体内に入り、アレルギー性皮膚炎になることもあります。また、ノミが媒介する感染症もあります。

例えば「^{うり さねじょうちゅう}瓜実条虫」(サナダムシの一種)と呼ばれる寄生虫症や、「猫ひっかき病」と呼ばれるグラム陰性菌による感染症は、人にも関係する人獣共通感染症です。

そのため、ノミを爪でつぶ

してはいけません。中にいる瓜実条虫が卵をまき散らす可能性があるので、洗剤などを薄めた液体に入れて駆除することをお勧めします。

大切なペットと家族を病気から守るために、定期的なノミ予防と生活環境のケアが大切です。ペットの寝床などを中心に掃除をこまめにしましょう。予防(駆虫)薬はさまざまありますので、かかりつけの動物病院に相談してください。

(アニコム獣医師

堀井典子)